

ほけんだより

学校保健委員会 特集号

令和4年 2月
園田北小 保健室



1月20日(木)に学校保健委員会を開催しました。感染症対策のため、残念ながら保護者の方にはご参加いただけませんでしたが、5校時は6年生が、放課後には職員がそれぞれLGBTについて講師の先生からお話を聞きました。素敵なお話をさせていただいたので、ここで保護者の方にもご紹介したいと思います。

講師の先生 特定非営利活動法人 Mix Rainbow より

井餘田みのりさん
阪部すみとさん
本多まささん

特定非営利活動法人 Mix Rainbow は尼崎市を中心に、LGBT やその理解者の方々のコミュニティづくりなどの活動をされています。今回は3名のLGBT当事者の方にお越しいただき、お話を伺いました。



6年生 出前授業

LGBTとは?

L…レズビアン、G…ゲイ、B…バイセクシャル、T…トランスジェンダー

それぞれの頭文字をとって組み合わせた言葉です。全体の約10人に1人(=左利きやAB型の人と同じくらいの割合!)がLGBTの方だといわれています。最近では、すべての人に当てはまる「SOGI(ソジ)」という言葉も使われます。Sexual Orientation…好きになる性(性的指向)と Gender Identity…心の性(性自認)の頭文字をとった言葉です。

なんでもしつもんコーナー

Q:LGBTQという言い方もありますが「Q」って何ですか?

A:Question(クエスチョン)のQで、心の性や好きになる人の性がまだ決まっていない人、あえて決めていない人のことをいいます。

Q:虹色の旗の意味は?

A:レインボーフラッグといって、全世界で共通のLGBTを象徴する旗です。7色ではなく6色の虹になっています。



Q:友達からLGBTについて相談を受けたらどうしたらいいですか?

A:まずは「大切なことを教えてくれてありがとう」と伝えてほしい。相談された内容を、本人の許可なく周りの人に伝えることは「アウティング」といって、絶対にしてはいけないことです。

講演会

自分の性を“4つのものさし”で表すと…

割り当てられた性	男性	女性
性自認	←→	←→
性的指向	←→	←→
性表現	←→	←→

性のありかたはひとそれぞれ。
幅があってもいいし、決めなくてもいい

アライ ALLY(=理解者・協力者)になろう

- ・レインボーフラッグを掲げる
 - ・LGBTに関する本をさりげなく置いておく
- 「ここは安心して話せる場所なんだ」というメッセージになる

講演の後半では、事前に募集した質問をもとにお話していただきました。

Q:学校生活で困ったことはどんなことですか?

A:困ったというより“ガマンしていた”。宿泊学習でのお風呂や水泳の授業に抵抗があった。ラッシュガードの着用や職員トイレや多目的の使用を認めてもらえればほっとする子も多いのでは?

また、知識がなく大人になるまで自分がLGBTであると気が付かなかったので、もっと早くに知りたかったという意見もありました。

Q:「男の子っぽい女の子、女の子っぽい男の子」に出会ったときはどのように接すればいいでしょうか?

A:「男の子っぽい、女の子っぽい」など、外見で社会的性別を決めつけないこと。周りの子と同じように、性差で対応を変えないことが大切。ありのまま、そのままを受け入れてほしい。ただ、いじめや否定的な言葉掛けがないか気に留める必要はある。自分がLGBTであるかどうかを周りに伝えるか伝えないかは本人が決めることです。周りの人は相談しやすい雰囲気づくり、信頼関係づくりを。